

担架にもなる看板「タンカン板」を受贈 ～8月25日、寄贈式と感謝状の贈呈式を実施～

- 公益社団法人全日本不動産協会京都府本部から、「WE ラブ赤ちゃんプロジェクト」柄の、担架になる看板「タンカン板」寄贈をいただきます。
- 8月25日に「タンカン板」の寄贈式と感謝状の贈呈式を行いますので、当日の取材をお願いします。

1 寄附の申出内容

(1) 趣旨

京都府子育て環境日本一推進会議の参画団体として、府民一人ひとりが子どもや子育て世代をあたたく包み込み、全ての人にとって暮らしやすい「子育て環境日本一京都」に実現に向けて、「WE ラブ赤ちゃんプロジェクト」の普及啓発に連携・協力し、担架としても活用でき、府民の救急対応にも資する「タンカン板」の寄付を実施。

(2) 寄贈品

- 「WE ラブ赤ちゃんプロジェクト」ラッピングを施した「タンカン板」
- ※普段は看板として設置され、緊急時（来場者がケガや病気になり運ぶ必要がある場合等）は担架として使用するもの
- ※100 kg以上の耐荷重があるため、大人の搬送も可能
- ※今後3年間、京都府立施設に毎年1台寄贈

2 寄贈式及び感謝状贈呈式

- (1) 日 時 令和8年8月25日（火）午前9時40分～10時
- (2) 場 所 京都府庁1号館3階会議室
- (3) 出席者 全日本不動産協会京都府本部 ぼう まさかつ 雅勝本部長
京都府知事 西脇隆俊

3 令和8年度のタンカン板の活用方法

京都府立植物園観覧温室に設置

4 取材について

- ・9時30分までに、京都府庁1号館3階会議室へお越しください。
- ・取材の際は、自社腕章を着用してください。



<参考>

・WE ラブ赤ちゃんプロジェクト

公共の場で泣き始めた赤ちゃんを、懸命に泣き止ませようと焦るママの姿をきっかけに始まった取組で、周囲が「焦らなくても大丈夫」「泣いても気にしませんよ」という受容の気持ちをステッカー等で見える化することでママ・パパを優しく見守り、子育てににあたらかな風土をつくります。

・全日本不動産協会 京都府本部

本部長：ぼう 雅勝、会員：1,011社（支店含む。）

事業内容：不動産業の振興と不動産取引における消費者保護に関する事業

【本報道発表に関するお問合せ】

健康福祉部こども・子育て総合支援室 参事 采尾 TEL 075-414-4612

